

石川 朗(総編集), 河村廣幸(責任編集)

15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学 I, II

内山 靖

(名古屋大学医学部保健学科)

わが国の理学療法士免許登録者は9万人を超え、理学療法士養成課程の一学年総定員数は18歳人口のおよそ1%を占めるに至っている。理学療法士の増加に伴い医学書に占める理学療法関連の書籍はここ10年で急増し、最近ではさまざまな特色を打ち出したシリーズ書も続々と発刊されている。

このような時流において、伝統ある医学書籍の出版社である中山書店から「15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト」が発刊されたことは誠に喜ばしい。本シリーズは、タイトルからも明かなように、15コマで構成される講義形式に則った学生を読者対象に特化したものである。そのコンセプトに基づき、冒頭にはシラバスとともに流れがつかみやすい丁寧な目次が掲載され、本文には豊富な図表が取り入れられている。

今回紹介する運動器障害理学療法学は、IとIIの2冊に分けて30章で構成されている。特筆すべきは、講義と実技を連続した章として扱い、学生は病態を予め学んだうえで科学的背景に基づいた理学療法の評価と治療を一連の過程で学べるように工夫されている点である。実技の章では、実際の対象者や忠実なモデルによる写真が満載で、効率的かつ効果的な学習が展開されるように配慮されている。しかも、総文量を抑えた短文で表記されているながら、内容は基本的に忠実に精選されている。ともすると、このくらいは分かっている

てほしいという教員の願望から、内容が多岐にわたってかえって学習到達度を下げてしまうことがあるが、本書は教育の本質をよく理解した執筆・編集陣によって完成度の高い内容にまとまっている。まさに、学生主体のテキストであり、若手の教員への力強い教本ともいえるだろう。また、執筆は責任編集者と意思疎通がとれ認識を共有できる関係にある数人に限定されているため、全体の整合性が高く、細部にわたる統一感は学習者にとって理解を促す要素となる。

評者の役割としてあえて課題を提示するとしたら、運動器や運動器障害理学療法の枠組みや特徴について、明確に解説する総論部が見当たらないことである。15章の後にある試験のcomment欄で、運動器疾患について学んだ内容はすべての対象者に接するうえで生かすことができること、運動器疾患の理学療法は比較的理解しやすくほかの基本となる内容が数多く含まれていることが記載されているので、その具体的な内容を冒頭で記してあれば学生の学習意欲と理解が一層高まるものだろう。また、全項目を理学療法士のみで執筆することが最善かどうかは意見が分かれるところである。

いずれにしても本書は、これまでわが国で出版された学生を対象としたテキストのよい部分を存分に取り入れ、後発ゆえの利点を最大限に生かした所作である。教科書としてだけでなく、専門学校や大学の学生はもとより大学生の自己学習書として、また、臨床実習でも大いに活用できる書籍として自信をもってお奨めしたい。

●A4判・192頁

2,520円(本体2,400円+税)

2011年 中山書店・刊

◎PTジャーナル/バックナンバーと特集テーマのご案内

過去2年分のバックナンバーは当社に在庫がございますので、ご入用の際は弊社販売部(☎03-3817-5660 FAX03-3815-7804)までお申し込み下さい。それ以前の号については東亜ブック(☎171-0014 東京都豊島区池袋4-13-4 ☎03-3985-4701 FAX03-3985-4703 e-mail:st@toabook.com URL:http://www.toabook.com/)にお問い合わせ下さい。

[第44巻(2010年)]

- 第4号 筋力増強—update
- 第5号 新人教育
- 第6号 呼吸機能障害とチーム医療
- 第7号 在宅理学療法の実践
- 第8号 徒手理学療法
- 第9号 画像を活かした脳損傷のケーススタディ
- 第10号 身体障害者スポーツと理学療法の関わり
- 第11号 症例検討—脳血管障害患者を多側面から診る
- 第12号 股関節疾患の理学療法—update

[第45巻(2011年)]

- 第1号 自立支援
- 第2号 通所サービスにおける理学療法
- 第3号 脳卒中片麻痺患者の装具と運動療法
- 第4号 ロコモティブシンドローム
- 第5号 がん患者のリハビリテーションと理学療法
- 第6号 小児理学療法の新たな展開
- 第7号 神経生理学的アプローチの転換
- 第8号 糖尿病の理学療法
- 第9号 足部・足関節の機能と理学療法
- 第10号 認知症の理学療法
- 第11号 チーム医療における理学療法士の役割
- 第12号 下肢機能再建と理学療法

[第46巻(2012年)]

- 第1号 運動学習と理学療法
- 第2号 慢性疼痛への包括的アプローチ